

【Vade for M365】 無料メールセキュリティ診断の進め方



2023.09.28

株式会社エヌ・ティ・ティ ピーシー コミュニケーションズ

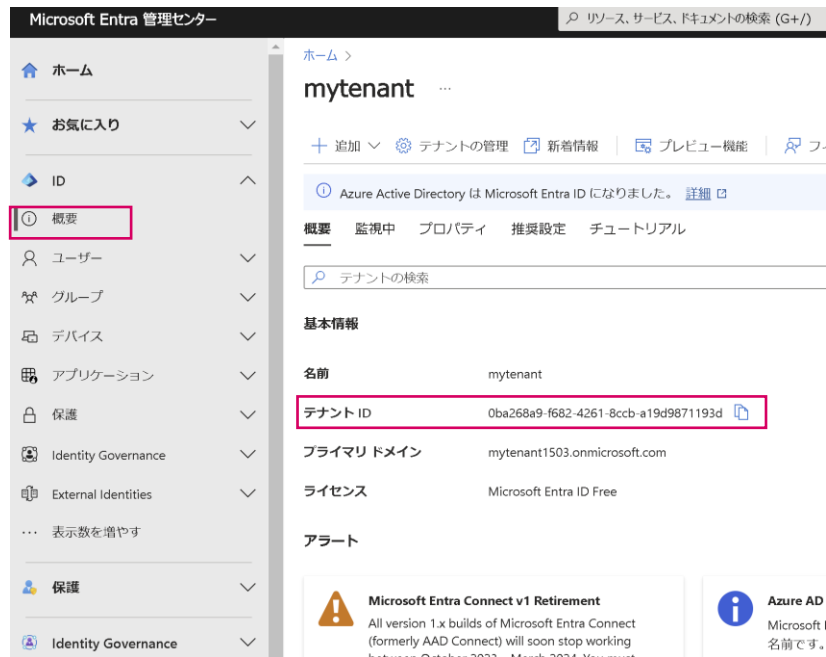
お客様にご準備いただく必要があるもの

1. お客様情報

- 企業名（日本名、英名）
- 所在地
- ご担当者（管理者の方）
 - 氏名
 - メールアドレス
 - TEL

2. Microsoft テナントID

- Entra ID（旧Azure AD）の画面より確認可能です。
- a. Entraにサインインします。
<https://entra.microsoft.com/>
- b. [概要] を選択します。



The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. On the left, a navigation pane lists various management areas, with '概要' (Overview) highlighted in a red box. The main content area displays the 'mytenant' tenant details. A table lists the following information:

名前	mytenant
テナントID	0ba268a9-f6d2-4261-8ccb-a19d9871193d
プライマリ ドメイン	mytenant1503.onmicrosoft.com
ライセンス	Microsoft Entra ID Free

The 'テナントID' (Tenant ID) value is highlighted with a red box. Below the table, there are sections for 'アラート' (Alerts) and a notification about 'Microsoft Entra Connect v1 Retirement'.

実施いただきたい事項 | フィルタチューニング (学習)

- 実施いただくことで、お客様のメールボックスに応じたより高い検知が可能になります。
- チューニング方法
 - 管理者：対象メールログの脇に表示される「修復」マークを押下いただくだけです。
 - ユーザ：Outlookの画面より対象メールを「迷惑メール」とチェックいただくだけです。
- ご判断が難しい場合は、Vade TIRC (Thread Intelligence Research Center) にて判断いたしますので積極的に押下いただいて構いません。
 - 「修復」、「迷惑メール」のチェックによりVade TIRCにて申請メールの判断が実施され、お客様に応じたフィルタにチューニングされます。
 - 個別で判断結果を確認されたい場合は、別途該当メールのemlファイルをいただければ、個別でご案内することも可能です。
- 以下のような見逃しや過検知についてもチューニングにより問題なく改善いたします。
 - 脅威メールが正常なメールと判定され、すり抜けてしまっている
 - システムメール、お取引先からのメールが一部マルウェア、スパム等と判定されている

ご契約後の推奨事項

- ご契約いただいた後、保護モードでのご利用が可能です。（設定＞全般＞全体設定）
 - 無料メールセキュリティ診断は監視モードのみのご利用となっております。
 - 保護モードへ切り替えていただくことにより、ステータスに応じた処理を実行することが可能となります。（迷惑メールフォルダへの移動、削除など）
 - 保護モードへの切り替えは1クリックで簡単に実施できます。
- Auto-Remediateをオンにしてください。（設定＞フィッシング対策＞Auto-Remediate）
 - Auto-Remediate（自動修復機能）は新たに発見された脅威についても既存のメールを再度チェックし、自動的にフィッシングメールを処理することができる機能です。
- Threat Coach Intelligence Communityに参加するをオンにしてください。
 - こちらをオンにすることにより、「修復」対応したメール以外の貴社が受信した脅威メールをVade Secureが詳細に分析し、フィルタのチューニングに生かします。それにより、さらなる検知率の向上が可能になります。

初期設定詳細手順

0. ライセンス発行（※NTT PCにて対応）

Order a license
✕

Product

Vade for M365

Microsoft Tenant ID

f773c008-17bb-4d25-a0fd-697d07d87d0c

Environment

Asia

Trial

7 days

Plan

1 year

3 years

Users ⓘ

5

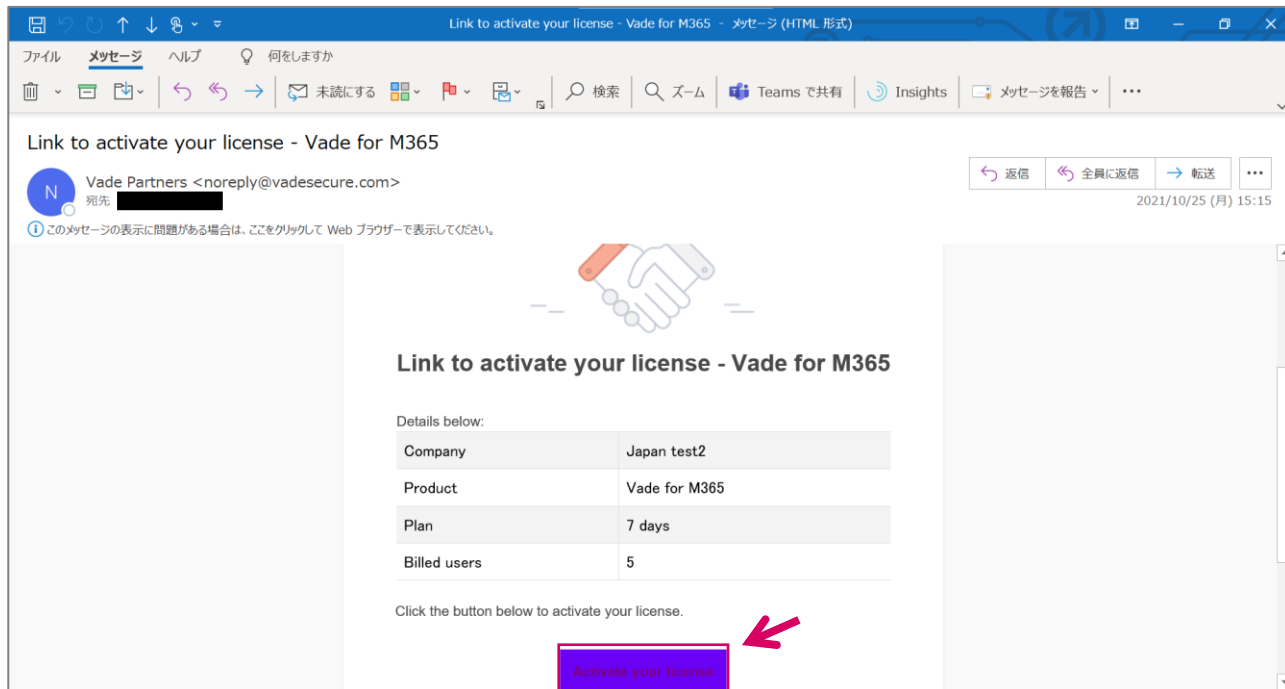
Allow user group restriction

Cancel

Order a license

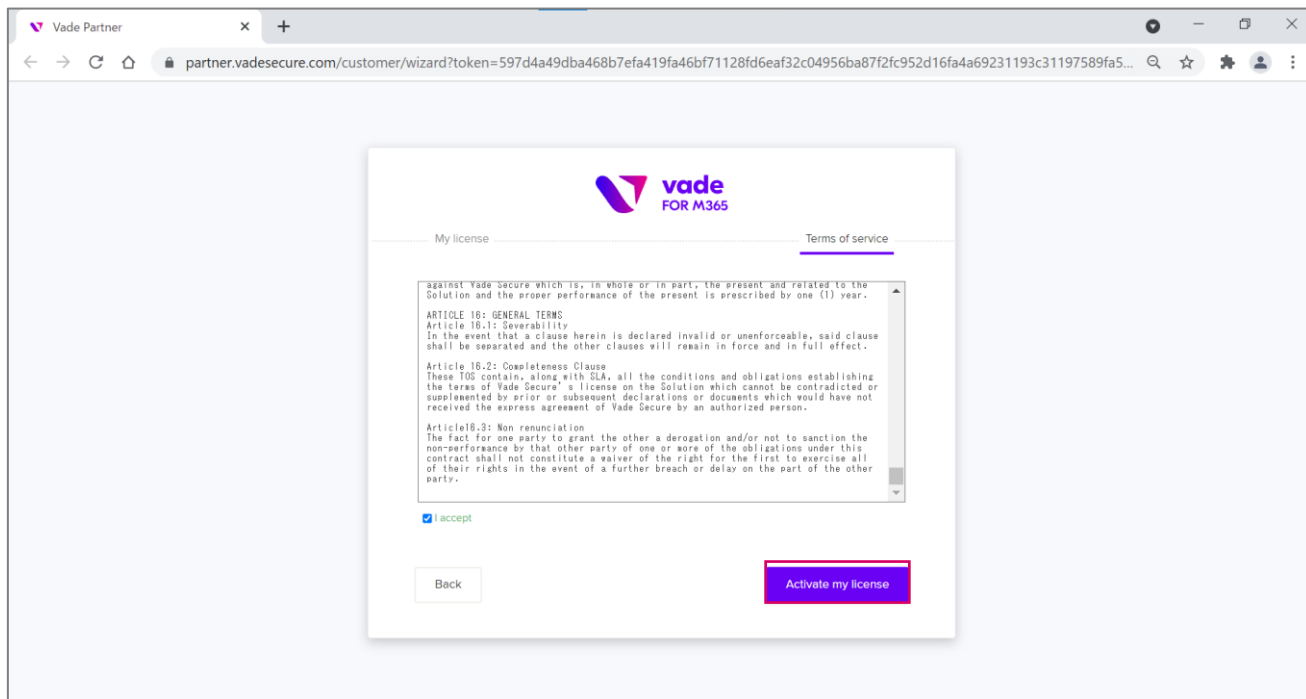
- 頂いたお客様情報、Microsoft テナントIDをもとに、NTT PCにて検証ライセンスを発行いたします。

1. ライセンス有効化依頼メール



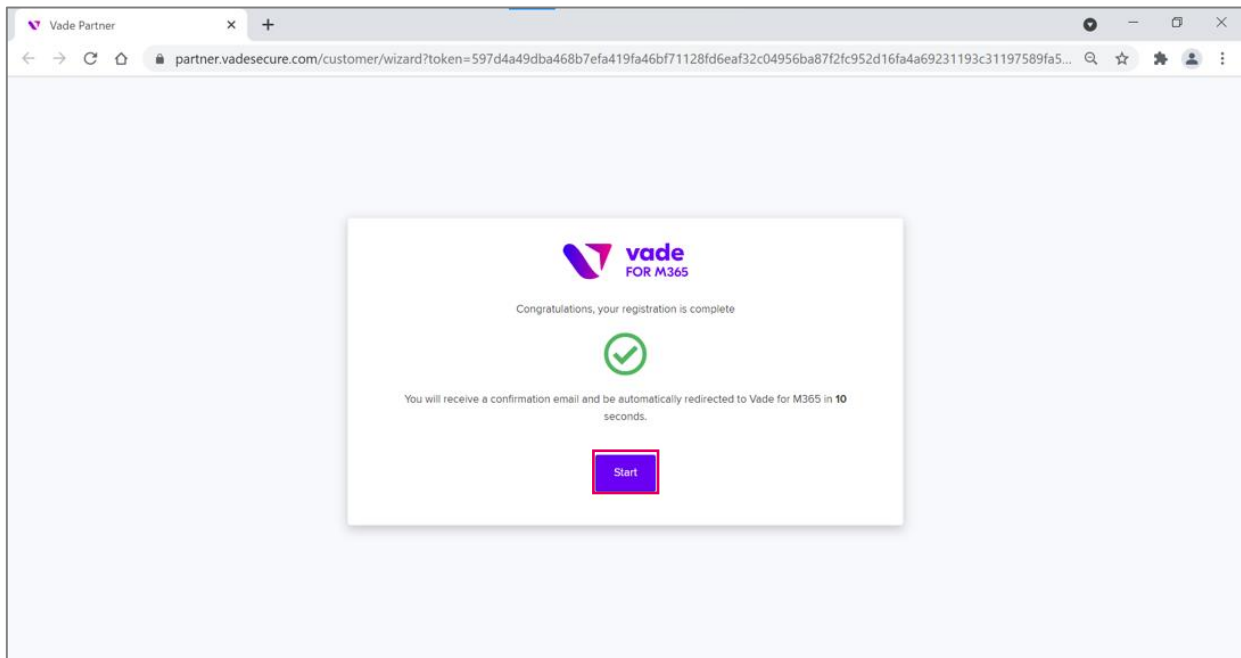
- お客様情報の担当者様宛てにライセンス有効化依頼メールをお送りいたします。“**Activate your license**”を押下ください。

2. サービス規約への同意



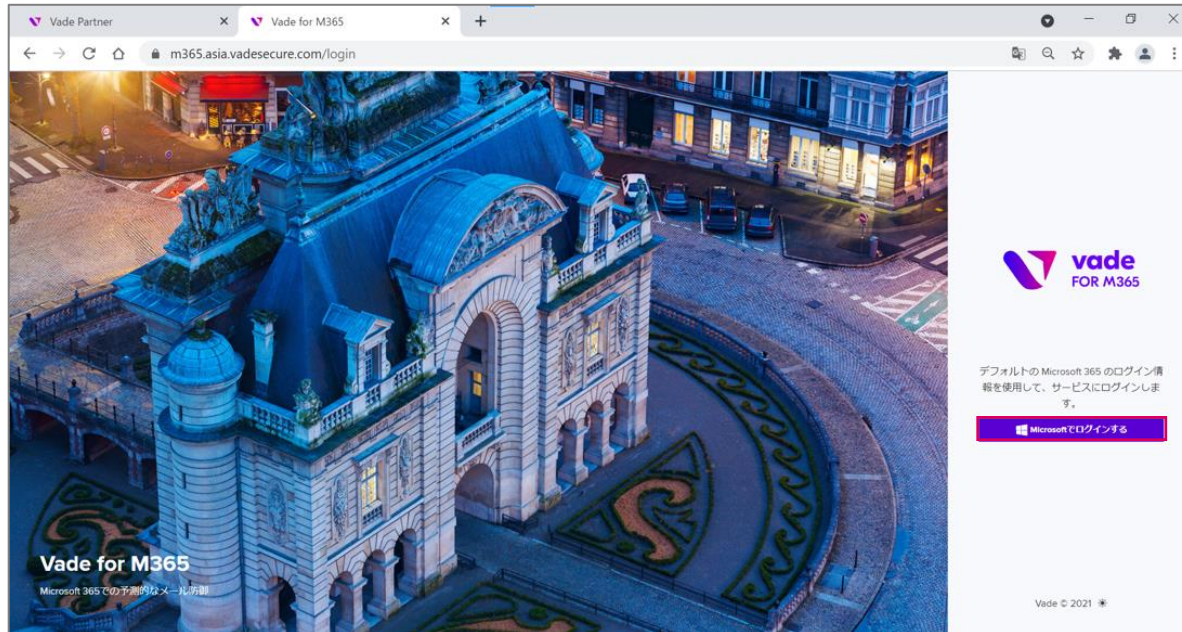
- サービス規約を一読いただき、“I accept”のチェック後に“Activate my license”を押下ください。
 日本語版の規約は別途ご案内いたします。

3. Vade for M365のライセンス登録完了



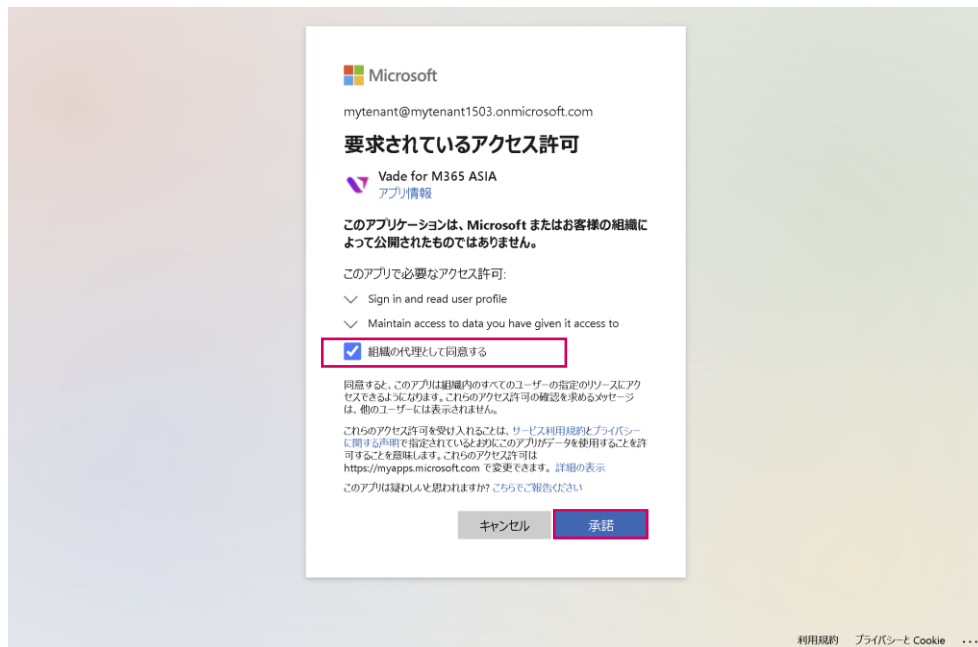
- Vade for M365のライセンス登録は完了です。管理画面を開いてみましょう。

4. Vade for M365へのログイン



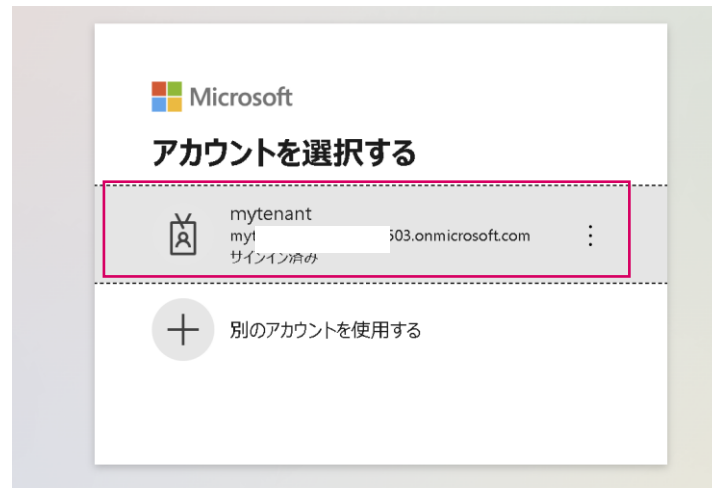
- Vade for M365へのログインはM365アカウントでのSSO（シングルサインオン）します

5. Vade for M365のアクセス許可



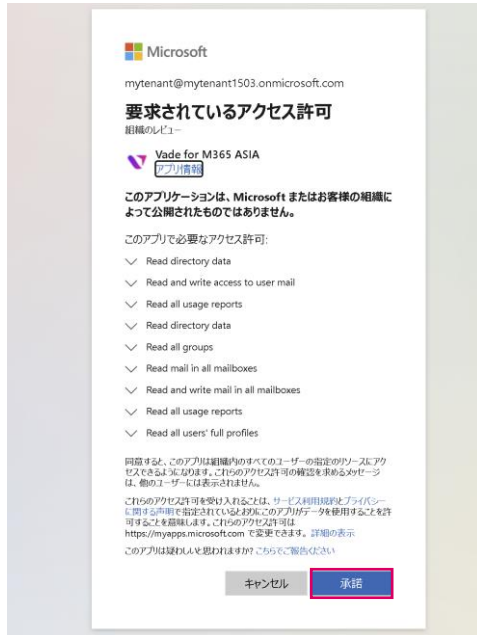
- Vade for M365がMicrosoftへアクセスするに当たってのアクセス許可をします
- 「組織の代理として同意する」にチェックを入れます。続けて「承諾」をクリックします

6. Vade for M365のアクセス許可



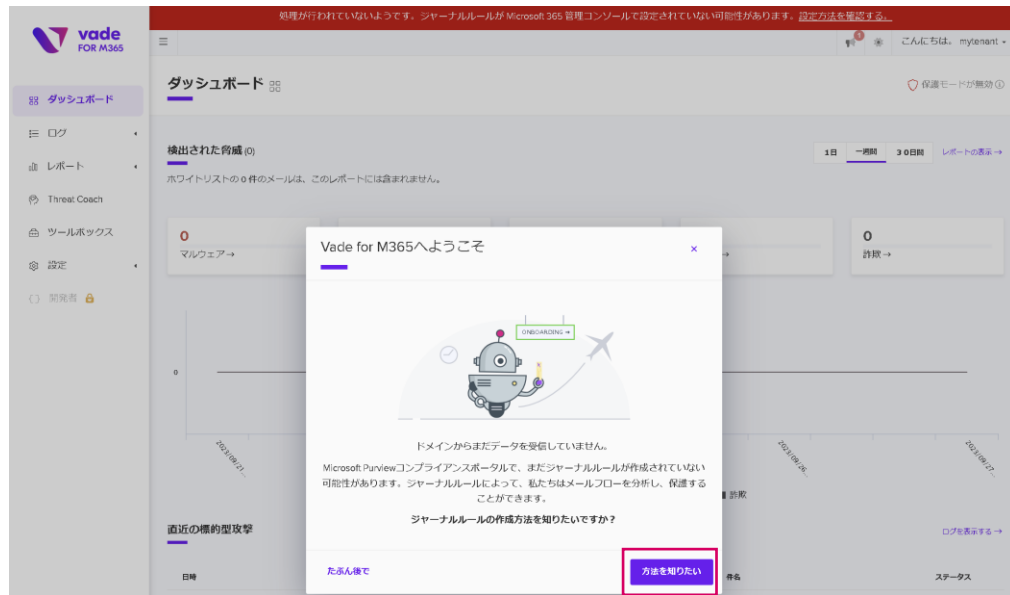
- 同様にアクセス許可に関する画面が表示されるので、「続ける」をクリックします
- 再度、M365のログイン画面が表示されるので、ログインします。

7. Vade for M365のアクセス許可



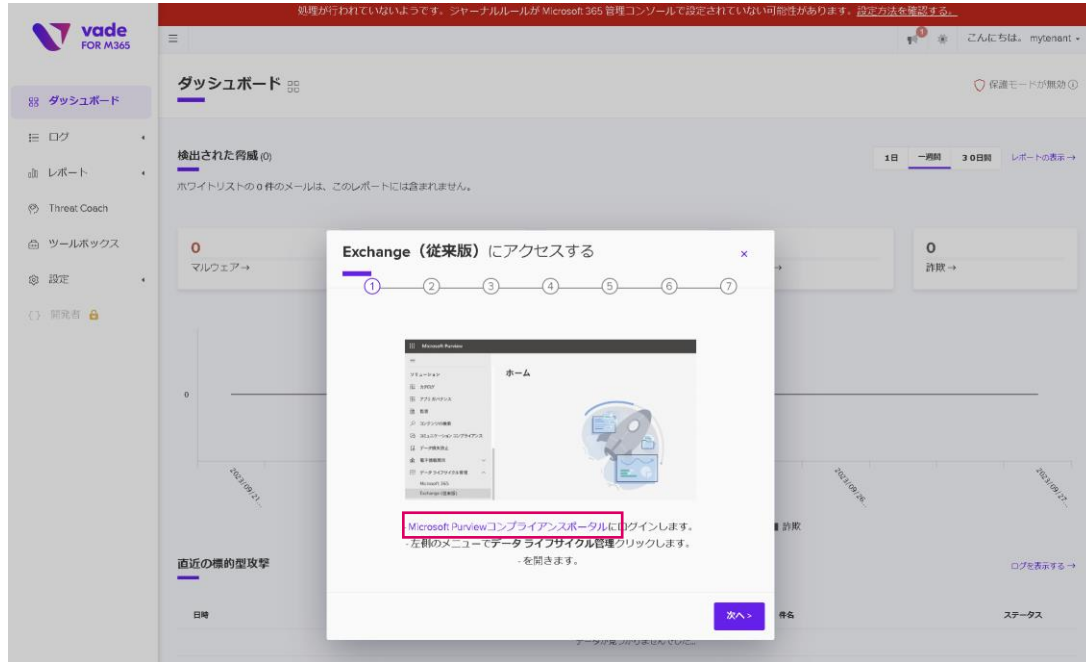
- 引き続きアクセス許可の画面が表示されるので、承諾をします。

8. アクセス許可の完了確認。ジャーナリング設定の開始



- 上記の画面が表示されれば、アクセス許可（API連携）は完了です。
- 続けて、ジャーナリング設定を行います。「Vade for M365へようこそ」のウィザードから「方法を知りたい」をクリックします。

9. Microsoft Purviewに移動



- 「Microsoft Purviewコンプライアンスポータル」にログインします。をクリックします (もしくは、<https://compliance.microsoft.com/homepage> を直接開きます)

10. PurView ジャーナリングの設定



- Purview画面から「データライフサイクル管理」 → 「Exchange (従来版)」を選択します

11. PurView ジャーナリングの設定



- 「ジャーナルルール」を選択します。続けて、配信不備なジャーナルレポートの送信先を設定します。設定をクリックします。
 (ジャーナル設定を既に使用している環境などで、既に配信不備なジャーナルレポートの送信先が設定されている場合は、このステップはスキップしてください)

12. PurView ジャーナリングの設定



- 配信できないジャーナルレポートの送信先に「undeliverable@bounce.asia.vadesecure.com」を入力し、保存します（ジャーナル設定を既に使用している環境などで、既に配信不備なジャーナルレポートの送信先が設定されている場合は、このステップはスキップしてください）

13. PurView ジャーナリングの設定



ジャーナルルールを作成します。
「+ 新しいルール」をクリックします

14. PurView ジャーナリングの設定

Microsoft Purview

Exchange (従来版) > ジャーナル ルールの編集

ジャーナル ルールの設定

完了

ジャーナル ルールの設定を定義する

ルールの条件に一致するメッセージは、ルールで指定されたジャーナル アドレスに配信されます。Exchange Online でのジャーナリングの管理に関する詳細
[ジャーナル レポートの送信先 *](#)

journal@m365.asia.vadesecure.com

ジャーナル ルール名 *

[Apply to all messages]Vade Journal

ジャーナル メッセージの送信元または受信元 *

全てのユーザー

特定のユーザーまたはグループ

ジャーナルするメッセージの種類 *

全てのメッセージ

内部メッセージのみ

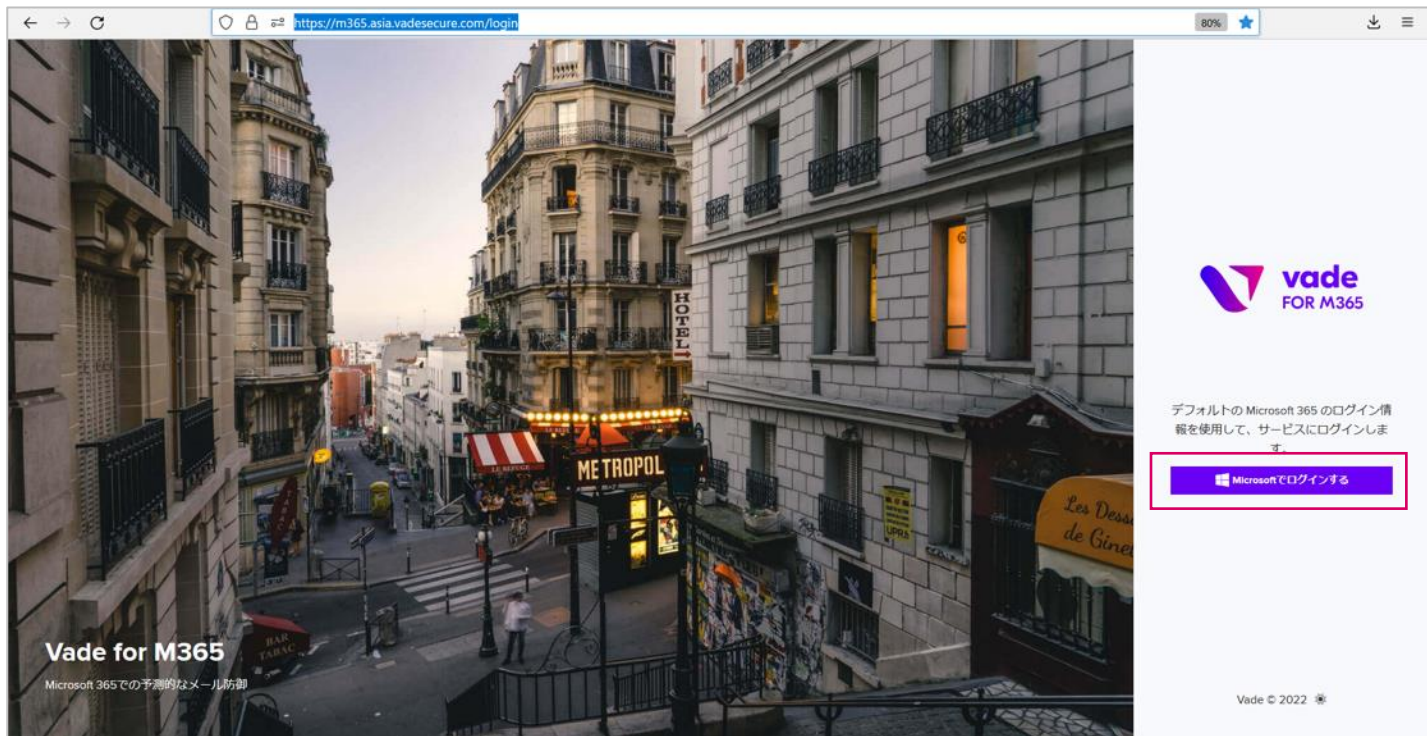
外部メッセージのみ

次へ

キャンセル

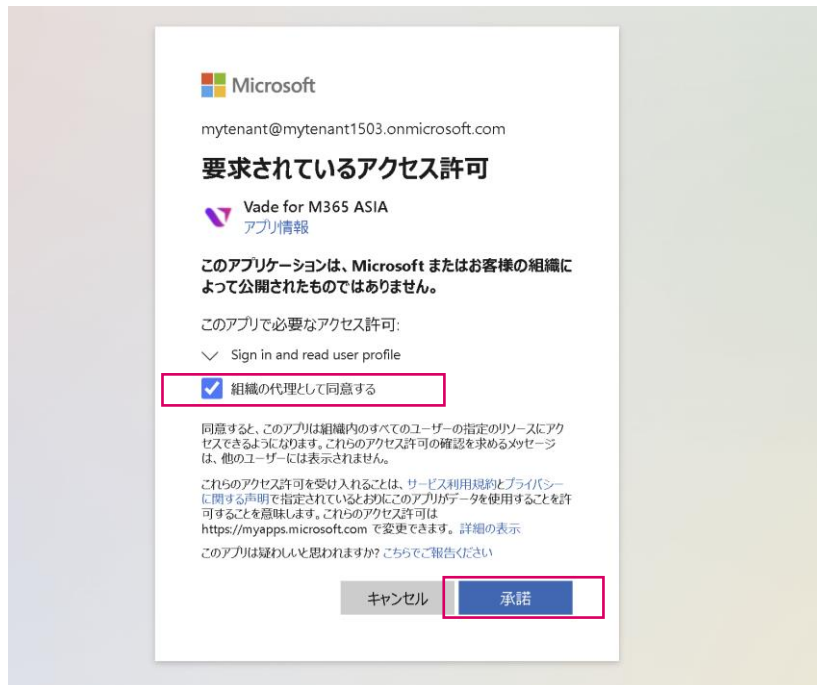
- 送信先に「journal@m365.asia.vadesecure.com」、「すべてのユーザー」、「すべてのメッセージ」を選択して完了します。
- ジャーナルルール名は、任意のもので構いません。（例えば、「Vade Journal」など）

15. Vade for M365へアクセスしてみましょう



- 「<https://m365.asia.vadesecure.com/login>」にアクセスし、ログインします。

16. Vade for M365へアクセスしてみましよう



- 上記が表示される場合は、「組織の代理として同意する」にチェックを入れて、承諾します。次回ログイン以降は、表示されなくなります。

17. Vade for M365へアクセスしてみよう



メールログ

メール (1)

to:"address@domain.com*" AND subject:"Buy my rolex watch"

フィルタ

一週間

ヒント: ダブルクォーテーション (") を使用して、設定された順序で単語を検索します。

リアルタイムログモード

1件

CSV形式でエクスポート

修復

日時	差出人	発元	件名	ステータス	修復	処理	詳細
2023/09/28 14:21	Isao.Miyazaki@vadesec...	mytenant@mytenant50...	ああああだだだだだ	正当		未処理	

- 左メニューの「ログ」→「メール」をクリックし、何かしらのログが表示されていれば、設定は正常に行われており、これですべての設定が完了です。